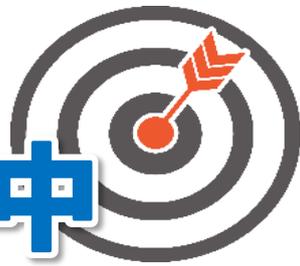


2024 ズバリ! 的中



漢文

早稲田大学

『西京雜記』の本文が的中

入試問題

2月22日実施 社会科学部
(二) 問十九

河合塾

夏期講習 早大古文
第二講 B 問八
大学受験科 基礎シリーズ
漢文総合 第六講

早大古文

問八 右の「後頼髓」の文章は、次の『西京雜記』の記述と関連が深く、内容もほぼ一致している。これを読んで、後の(一)・(二)に答えよ。

元帝後宮既多、不得常見。乃使画工图其形、案图召幸之。官人皆賂画工、多者十万、少者亦不減五万。独王嬪自恃容貌、不肯与、工人乃醜之、遂不得入朝。求美人为关氏。於是上案图、以昭君行。及去召见、貌为后宫第一、善应对、举止闲雅。帝悔之、而名籍已定、方重信於外国、故不復更人。(後略)

(注一) 王嬪 王昭君

(注二) 关氏 匈奴的后

第六講 否定形②

漢文総合

元帝後宮既多、不得常見。乃使画工图其形、案图召幸之。官人皆賂画工、多者十万、少者亦不減五万。独王昭不肯見、匈奴入朝求美人为关氏。於是上案图、以昭君行。及去召见、貌为后宫第一。善应对、举止闲雅。帝悔之、而名籍已定。帝重信于外国、故不復更人。乃窮案其事、画工皆棄市。

問十九 ◆以下の会話本文に関連して、次に示す『西京雜記』の文を読んで、あとの問いに答えよ。(なお、設問の都合上、返り点・送り仮名を省いた箇所がある。)

元帝後宮既多、不得常見。乃画工图其形、案图召幸。諸官人皆賂画工。多者十万、少者亦不減五万。独王嬪自恃容貌、不肯与、工人乃醜之、遂不得見。後匈奴入朝、求美人为关氏。於是上案图、以昭君行。及去召见、貌为后宫第一、善应对、举止闲雅。帝悔之、而名籍已定。方重信於外国。故不復更人。乃窮案其事、画工皆棄市。籍其家、資皆巨万。画工有杜陵、毛延寿、二人。醜好老少、必得其真。安陵、陳敞、新豐、劉白、龔寬、並工。為牛馬飛鳥、亦肖人形、好醜、不速延寿。下杜、陽望、亦善画。尤善布色。樊育亦善布色。同日棄市。京師画工於是殆稀。

注 元帝：前漢第十一代皇帝。 王嬪：元帝の宮女、字は昭君。

關氏：匈奴の王の正妻の称号。 棄市：死刑。 籍：家財を没収する。 杜陵：地名。 毛延寿：人名。

安陵：地名。 陳敞：人名。 新豐：地名。 劉白：人名。 龔寬：人名。

下杜：町の名。 陽望：人名。 樊育：人名。